

街路事業

うつのみや
宇都宮都市計画道路3・4・202号
 (主要地方道 宇都宮鹿沼線)
 (平成30(2018)年3月 供用)

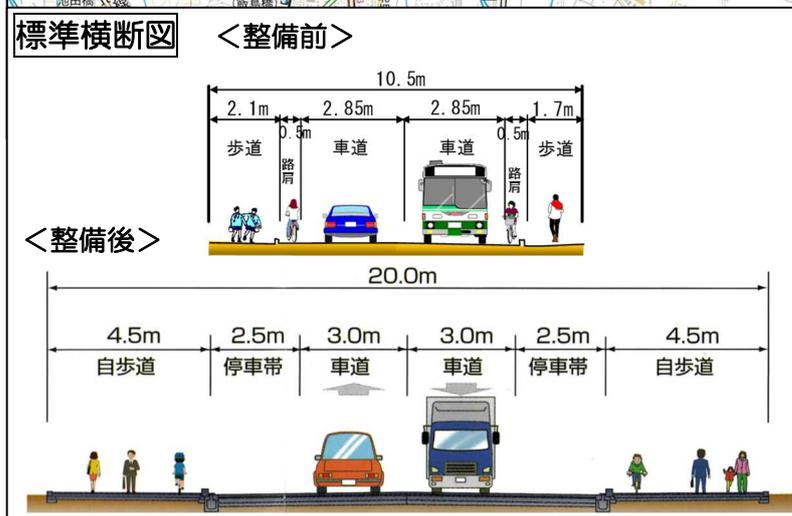
こぶがはらみやどお
古峯原宮通り
 (千渡工区)

1. 事業概要

宇都宮都市計画道路3・4・202号古峯原宮通りは、鹿沼市中心部を東西に横断し、宇都宮市に至る幹線道路である。また、地域間の物流や通勤、通学等の日常生活を支えるとともに、第三次緊急輸送道路に指定されており、災害時の避難支援、応急活動のために重要な路線である。

しかしながら、本路線の現道は多くの商業施設が建ち並び、自動車、路線バス、自転車、歩行者が集中し、慢性的な交通渋滞が発生していた。また、東小学校の通学路として利用されているにも関わらず、歩道が狭いため、自転車・歩行者の安全確保が望まれていた。

このため、栃木県では、「都市間の連携の強化」、「交通渋滞の緩和」、「安全で快適な通行空間の確保」、「緊急輸送道路の機能強化」を目的として、平成19年度からバイパス整備事業に着手し、平成30年3月に供用を開始した。



- ◆事業主体 : 栃木県
- ◆事業箇所 : 宇都宮都市計画道路 3・4・202 号古峯原宮通り
主要地方道宇都宮鹿沼線
鹿沼市^{うわのまち}上野町～鹿沼市^{せんど}千渡
- ◆全体延長 : L=1,734m
- ◆幅員 : W=20.0m (車道 3.0m×2、自転車歩行者道 4.5m×2)
- ◆総事業費 : 約 44 億円
- ◆事業期間 : 平成 19 年度～平成 29 年度 (供用開始 : 平成 30 年 3 月)

2. 事業の目的・必要性

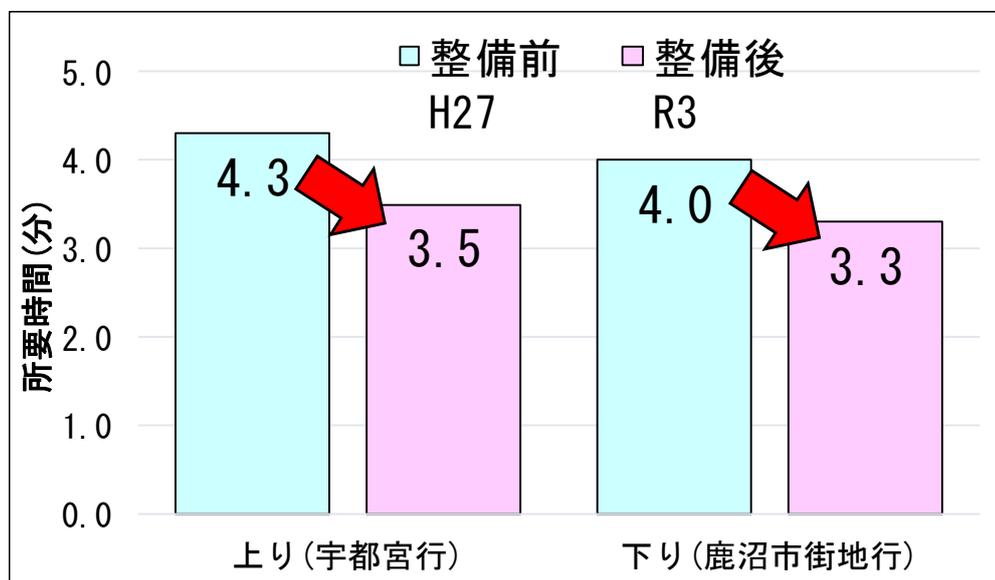
- (1) 都市間の連携の強化
- (2) 交通渋滞の緩和
- (3) 安全で快適な通行空間の確保
- (4) 緊急輸送道路の機能強化

3. 事業の整備効果等

(1) 都市間の連携の強化

千渡工区の整備に伴い、千渡交差点から東町交差点間の所要時間が短縮しており、都市間の連携が強化されている。

○所要時間の変化 (千渡交差点～東町交差点)

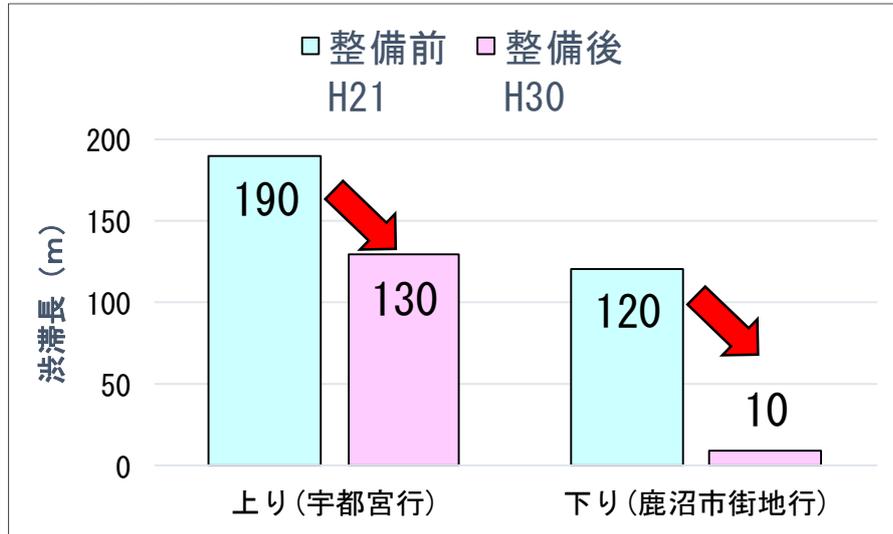


＜出典＞ 整備前：H27 道路交通センサス
整備後：鹿沼土木事務所調査

(2) 交通渋滞の緩和

「千渡交差点」の現道の渋滞長は、旧道からバイパスに自動車交通が転換されたことで減少している。

○千渡交差点の渋滞長



出典：鹿沼土木事務所調査

(3) 安全で快適な通行空間の確保

広い歩道を整備したバイパスに自動車や自転車が転換したため、整備前よりも交通事故発生件数は減少しており、地域の安全性は向上している。

なお、整備後、現在の時点まで千渡工区の人身事故件数は0件であり、安全な交通環境が実現している。

○事業区間の状況

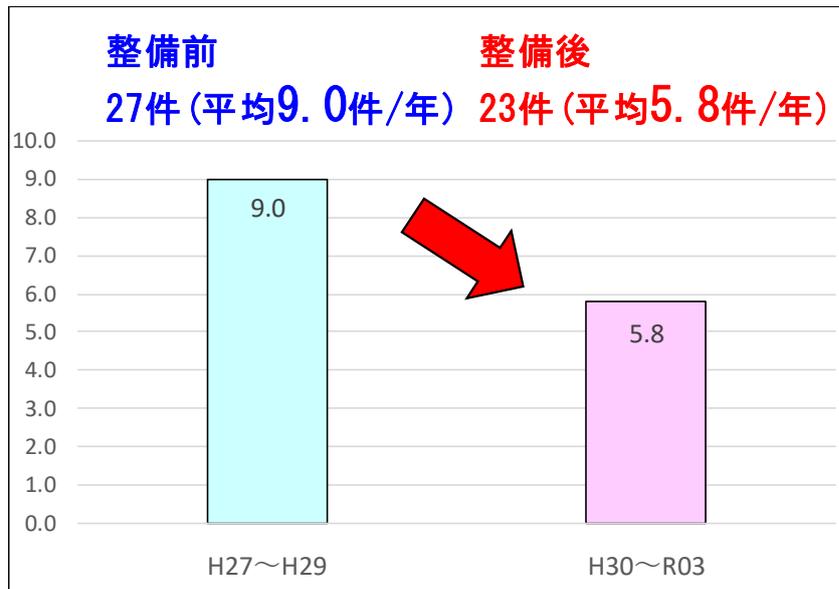
<整備前の現道の状況>



<整備後のバイパス>



○交通事故発生件数の推移（千渡工区「現道」と「バイパス」の合計）



出典：栃木県警ホームページ「交通事故発生状況マップ」集計期間：2015.1~2021.9

(4) 緊急輸送道路の機能強化

- 1) 広い停車帯が整備されたことにより、緊急車両の通り抜けが可能となるなど、緊急輸送道路としての機能が向上した。

○事業区間の状況

<整備前の現道の状況>



<整備後のバイパス>



- 2) 鹿沼消防署へのヒアリングにて、「整備前と比べて緊急搬送時間が短縮され、緊急走行の安全性、利便性が高くなった」との回答が得られた。

○鹿沼消防署へのヒアリング

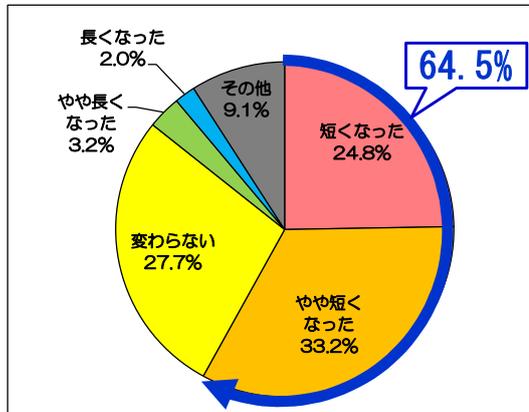
- 鹿沼市内から宇都宮方面への搬送時間 1 分短縮
 開通前(H29)：23分→開通後(R2)：22分
- 大型車両での緊急走行の安全性、利便性が高くなった

4 地元の声（アンケート結果）

3・4・202 号古峯原宮通り千渡工区の整備効果を検証するため、周辺の地域住民や施設を対象に、アンケート調査を実施した。

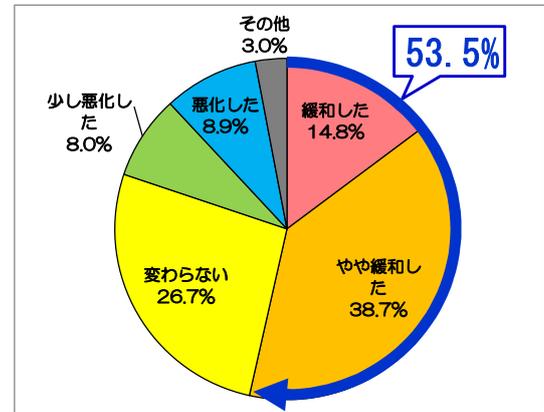
（回答数 1,596 件 / 配布数 3,105 件：回収率 51.4% ※有効回答数は設問により異なる。）

(1) 他地域への移動時間



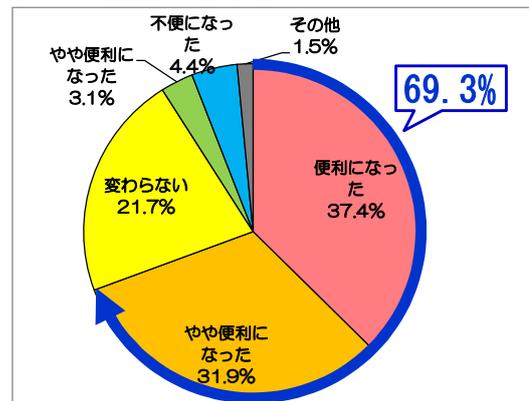
利用者の約 65%が、整備前と比べて、他地域への移動時間が短縮したと感じている。

(2) 旧道の渋滞緩和



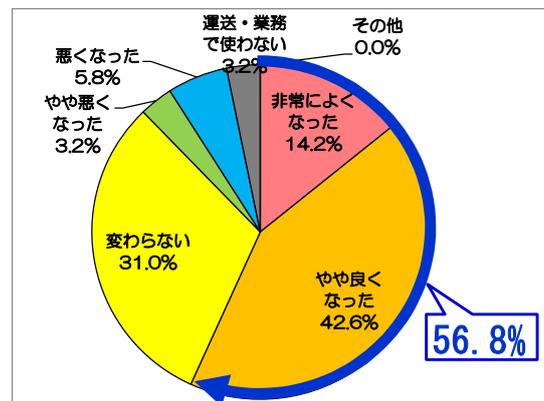
利用者の約 54%が、整備前と比べて、旧道の混雑が緩和したと感じている。

(3) 日常生活の利便性



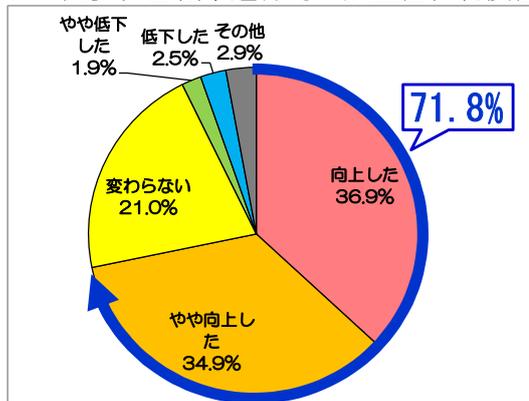
利用者の約 69%が、整備前と比べて、日常生活の利便性が向上したと感じている。

(4) 輸送・業務効率



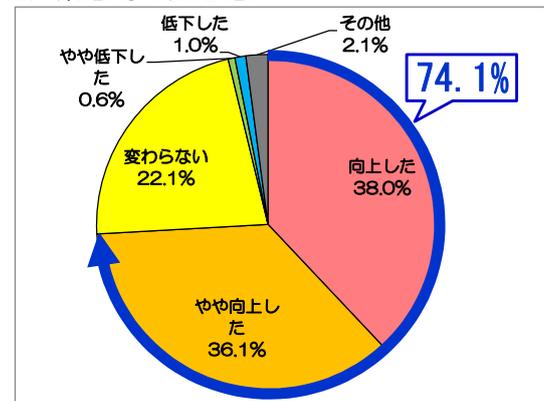
利用者の約 57%が、整備前と比べて、輸送・業務効率が向上したと感じている。

(5) 徒歩、自転車通行時の安全性、利便性



利用者の約 72%が、徒歩や自転車で通行時の安全性、利便性が向上したと感じている。

(6) 緊急時の安心感



利用者の約 74%が、緊急車両を呼ぶ事態を想定した場合の安心感が向上したと感じている。

(7)自由意見（意見の多かった内容等）

- ◇便利になった。開通してよかった。
- ◇全線開通に期待している。応援している。
- ◆信号機の設定を改善してほしい
- ◆道路が暗い。照明を設置してほしい。
- ◆渋滞が悪化したように感じる。
- ◆スピードを出す車が増えた。

5. 今後の事後評価の必要性及び改善措置について

本事業の整備に伴い、①都市間の連携の強化、②交通渋滞の緩和、③安全で快適な通行空間の確保、④緊急輸送道路の機能強化等の効果が発現していることが確認できた。また道路利用者のアンケート調査からも事業の効果を確認できた。このことから、今後の事後評価の必要性はないと考える。

ただし、千渡交差点から東町交差点間の所要時間は約1分の短縮に留まり、旧道の渋滞は緩和したものの、渋滞が残っている状況であった。これは、千渡工区のみでは旧道からバイパスへの交通転換が一部に限られ、バイパスとしての機能が不十分であることが考えられる。また、道路利用者アンケートからも、千渡工区延伸の整備要望が多かったため、延伸区間(千渡東工区)の整備推進を図っていく。

6. 同種事業への反映

本事業は、都市計画道路古峯原宮通り整備事業の一工区として、バイパス整備を実施することで、事業目的の達成を図ることができた。

今後、同種事業を実施する際には、街路事業として、まちづくりと一体となり整備すべき箇所や、都市機能の強化を図る都市環状及び都市放射機能を有した箇所を優先的に選定することとし、更に連続する工区で事業を実施する際には、事業間の中断が無いよう事業スケジュールを調整し、限られた予算の中で事業の効率性を高め、早期に事業効果が発揮できるように努めていく。

栃木県 県土整備部 都市整備課

TEL : 028-623-2475 FAX : 028-623-2477
HP : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h09/index.html>
E-mail : tseibi@pref.tochigi.lg.jp

VERY
GOOD
LOCAL
とちぎ